

【日 時】2022 年 6 月 21 日（火）15:00～16:30

【会 場】埼玉県理容美容専門学校・浦和校舎 2階学生ホール

【委 員】 評価委員 4名

| | | |
|-------|---|-------|
| 委員長／校 | 長 | 増村 信雄 |
| 事 務 長 | | 浦野 智子 |
| 学校本部長 | | 島田 美紀 |
| 教務課長 | | 千住 義祐 |

1 開会の辞（校長 増村 信雄）2021 年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言した。

2 校長挨拶（校長 増村 信雄）

創立 70 周年記念事業の新校舎建設は、過去の「自己点検評価」を踏まえて学校の学びの環境を向上させる目的に沿ったものである。この年度の評価結果はさらに新しい教育環境において重要であるので、有益な意見交換を求める。

3 審議事項

1) 教育理念・目標

校長 / ①本校の理念・目的・育成人材像である「高度な実践教育」を習得させるため、理容においては「おもいやり」美容は「おもてなし」と明確な学びの目的を設定して業界団体や企業と連携したカリキュラムを進められたので「5」が妥当と考える。

島田 / ②職業教育の特色として、一般社会人としての素養や社会的な経験から学ぶ機会を持つため、業界団体や卒業生を講師としたカリキュラムを更に充実させた。「新型コロナウイルス感染症」の対策のため、制限がかけられた中での取り組みとなったが、目標は程度達成できた。ボランティア活動は制限されたが、MV撮影などに参加するなど希望者を中心に行った。「5」が妥当と考える。

③社会人入試や留学生入試を整備し、SDGs の観点からもすべての理容師 美容師資格取得希望者の受入れを目指した他、転校生の受け入れなども実施した。通信教育やダブルライセンスの技術再習得のため、既卒者を対象とした国家試験対策講座の平日開設を実施した。「5」が妥当と考える。

校長 / ⑤美容科の、埼玉県美容技術協会との連携授業としての《日本文化》は 2 期生が卒業した。礼法と日本髪、着物着付けの高い技術を

身につけることが出来た。理容科では、高齢化社会はもとより社会のダイバシティに対応できるよう、理容福祉教育に関して関係各所の協力を得て実践的な授業を実施した結果、豊かな人間性を陶冶することができた。「5」が妥当と考える。

2) 学校運営

校長 / ①今年度も前年に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、授業計画の変更を複数回余儀なくされた。学校運営に大きな混乱はなく、クラスターも出ることなく授業時間数を確保する事ができ、在校生を進級、卒業させることができた。この計画の実施状況については、臨機応変に望み、理事会・評議員会に報告し承認を得、関係各所への報告も円滑に実施した。「5」が妥当と考える。

浦野 / ②各年度の事業計画は、上記の運営方針に従って各部署で立案、それを基に各部署長によるリーダー会議の審議を経て、理事長の参加する運営会議にて年度計画として策定し、理事会・評議員会の承認を得た上で実施している。また、その計画の実施状況についても、各担当部署及び運営会議においてチェックするとともに、理事会・評議員会に報告し承認を得ている。「5」が妥当と考える。③運営組織や意思決定等については、新校舎建設委員会とも並行しながら密に理事会との連携もとれており、寄附行為やその他の規程等により定められ有効に機能している。「5」が妥当と考える。④人事、給与に関する規程等の整備状況は、就業規則や給与規程等により定められ、教職員にも周知されている。「5」が妥当と考える。⑤教務や財務等の組織整備や意思決定等についても、③と同様に、寄附行為その他により定められている。「5」が妥当と考える。⑥法令や社会的規範等の遵守については、就業規則にも定め、教職員に徹底している。「5」が妥当な現状と考える。

島田 / ⑦本校の教育活動等については、HPを用いて教育課程編成委員会の議事録をはじめ、全シラバスを公開するなど情報開示を徹底している。就職状況や校外活動についても情報公開を徹底している。「5」が妥当と考える。⑧学籍データ等の個人情報管理のセキュリティは常に更新されるよう、SEの助言を受けて新校舎では効率化を図れる設計であるが、学校業務のスリム化と合理的な管理体制は実現していないため、現状は「4」が妥当と考える。

3) 教育活動

島田 / ①多角的な視野を以って教育課程の編成や実施方針等を策定するため、学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会などの助言を参考に、本校の教育理念や目標等に沿った教育活動を進めている。また、若い世代の教員を中心にICTを活用した新しい視点のカリキュラム作成を導入している。

千住 / ②年間カリキュラムの編成は、社会の動向を勘案して即戦力の育成に寄与するよう調整を加えている。シラバスの作成は明確化され、目標に合致している。補習や補講は計画的に実施されており、すべての学生の学びを補完している。担任制と平行してサポート教員を配置して教育到達レベルに全員が達するよう個別対応を充

実させている。「5」が妥当と考える。③カリキュラムは、本校の教育理念や目標等の達成に向け、学生が効率よく学べるよう体系的に編成されている。「5」が妥当と考える。④業界のニーズや学生本人の希望を考慮し、より実践的な職業教育を行うために、第一線で活躍する現職の理容師・美容師を講師として、現場の活きた技術も学んでいる。「5」が妥当とする。

浦野 / ⑤教育課程編成委員会を設置し、2019年度は委員会での審議（年2回開催）を通して、カリキュラムや教育内容の見直しを実施している。「5」が妥当と考える。

千住 / ⑥通常の授業での実習と合わせ、実務実習として実際の理容・美容サロンの協力の下での実習を、1年次春期（実働3日間）及び2年次夏期（実働5日間）に行う予定であったが、「新型コロナウイルス感染症対策」のため、代替として1日体験入店やサロン見学を実施した。内容としては「4」が妥当とする。

校長 / ⑦教育課程編成委員会を設置し、委員会での審議を通して、授業評価を実施し毎年度授業内容を検討・見直しも行っているため「5」としたい。⑧学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を設置し、両委員会での審議を通して、職業教育に対する外部評価を実施している。また、1年次では社会福祉、日本文化、毛髪科学、2年次では総合技術の授業を設け職業実践教育に対する評価も得ている。よって「5」が妥当とする。

千住 / ⑨成績評価や進級・卒業の判定については、単位履修規程を設け、客観的な指標としてGPAを算出し、HPに公表している。「5」が妥当と考える。

校長 / ⑩国家試験の取得については、理容、美容ともに体系的なカリキュラムを編成し、国実技及び学科の試験対策は十分に行われている。また、エステやメイク、ネイル等その他の資格についても、通常のカリキュラムの中で対応するとともに、希望者には、必要に応じて講習会を開く等、資格の取得を奨励している。「5」が妥当と考える。

浦野 / ⑪本校の教育理念及び教育目標を理解し、その達成に向けた授業を担う資格・経験・知識や技術等を有した教員や講師を確保している他、今後に向けて現場での経験を積んだ人材を採用しているので「5」とする。⑫業界団体（理容組合・美容組合）や、卒業生から優れた経験や技術を有した現職の理容師・美容師を講師として確保している。業界との連携授業は充実したものとなっているので、この項目は「5」が妥当と考える。

校長 / ⑬教員の資質向上の為の研修に積極的に参加できるよう取組を進めていたが、今年度も「新型コロナウイルス感染症」により一部研修受講に留まったため「4」が妥当と考える。⑭教職員の能力開発等の為の講習や研修等を受けることを奨励し、自主的に受講しようとする教職員には、その費用を助成するシステムは充実しているため「5」が妥当と考える。

4) 学修成果

島田 / ①長引く「新型コロナウイルス感染症」により、求人への影響が懸念されたが、理美容業については堅調であった。その一方でメイク、ブライダル、エステについては求人が激減したため、学生個々のニーズに応え切れなかった。また厭世観をもち就職そのものを取りやめた学生が数名あった。「4」が妥当と考える。

千住 / ②クラス担任制を実施して、学修意欲や資格取得へのモチベーションを維持、向上させるよう学生指導に取り組んでいる。また理容師・美容師資格の取得へ向け、体系的にカリキュラムを編成している。2021年度卒業生の国家試験では、理容科は %、美容科も %の合格率に留まり、2019年の水準から低下傾向にあることが懸念材料である。その他エステやメイク、ネイルに加えて新たに化粧品検定等の資格については、積極的に無償で講習会を開く等のサポートを行い、いずれも平均を大幅に上回る合格実績を出している。理美容師資格の取得ではなぜこのようなモチベーションを維持していけないのか、今後の課題として結果「4」とする。③各クラス担任を中心に複数の教員が対応した。退学の予兆ともなる無断欠席等については、保護者との連携が難しくなる中で、学習意欲、生活習慣の見直しなど、家庭との密接な連絡や協力を模索しながら、退学の防止に取り組んでいる。「5」が妥当と考える。

島田 / ④「新型コロナウイルス感染症」の影響により、卒業後の離職や転職相談などを利用する卒業生が激減している。Web相談などの対策強化が今後の課題となる。在校生については、放課後の就職ゼミなどの希望者に対するサポート等、教務と連携した支援体制をとっている。「4」が妥当と考える。⑤目的を持ったキャリア形成の継続に向けて、キャリア教育の担当者を設け、在学中の学習にも活かすプログラムを開始している。併せてサロン・ワーク教科において実習を増やすなど、常に教育活動の改善に努めている。「5」が妥当と考える。

5) 学生支援

島田 / ①就職プログラムと連動して、社会科学、サロンワークにおいても学生自身の職業観を深め、自主的な就職活動に繋がっている。2年次にはさらに個別指導や就職ゼミへの参加等の継続的な活動が効果を上げている。日々の学生指導でも、社会常識やマナーなど、基本的な職業観を身につける等の工夫を行い、全体として、進路・就職に関する支援を充実させている。また、求人情報をデータ化し、学生たちがいつでも検索できるよう開示している。「5」が妥当と考える。②クラス担任と学生支援室によるコーチングとコンサルティングに加えて、カウンセリングの要素を持った学生指導に努めている。「5」が妥当と考える。

浦野 / ③学費については、日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローンの他、本校と金融機関との提携ローンを活用する等、学生への経済的な支援体制を設けている。また、様々な事情がある学生に対しては、担当者が個別に、その状況に応じた対応を行っている。

今年度からは、学費減免規程も施行した。通信課程では教育訓練給付金等の公的資金援助等も含め、さらに経済的な支援体制の整備を図っている。「5」が妥当と考える。④健康診断は緊急事態宣言中の為、1月に実施した。また、2020年5月に発した学内「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を中心に、学内の衛生環境の充実をはかり、職場環境及び学習環境について必要な感染症対策を確実に実施した。関係各所からの支援もあり、マスク、消毒薬に不足なく学習環境を維持する事が出来た。日常の安全対策では、総務課に担当をおき「健康記録」をつけて学内での対応を共有している。「5」が妥当と考える。

千住 / ⑤2021年度は引き続き生活の様々な場面での自粛が必要となったため、「感染症対策を徹底する」事を優先し、課外活動については最低限の実施となったが、「5」が妥当と考える。

浦野 / ⑥消毒薬やマスクをはじめ、実習時に使用するフェイス・ガードや「抗原検査キット」などを準備し、生活環境への配慮は充実させることができた。設備に限界もあり「4」が妥当と考える。

千住 / ⑦体験入学時の保護者説明会などを通じて、資格取得や就職などへの理解を深める努力をして信頼関係を築いている。併せて入学後はインターネットを利用した「マチコミ」アプリを利用して学校と保護者が24時間体制で相互に連絡がとれるようにした。結果として休校の連絡や自宅学習への取り組みなどが即時対応でき、電話や文書による連絡に比べて周知が徹底できた。「5」が妥当と考える。

島田 / ⑧卒業生へのキャリアコンサルティングは、担当者を置いて対応を図るとともに、時節柄 Web での対応を実施した。実際の面談が実施できなかったため「4」が妥当と考える。

千住 / ⑨通信課程は「職業訓練給付金」に対応している。また、昼間課程の入試についても、社会人がチャレンジしやすい日程や内容となるよう改善を図っている。「5」が妥当と考える。

島田 / ⑩県内の高校に説明会や模擬授業、面接指導、マナー講座等に参加している。学校施設の見学やPTA見学会等は、時節柄ほとんど実施できなかった。また、近隣の中学校や高等学校のインターンシップ事業については、縮小傾向ではあるが出来る限りの範囲で協力し、生徒の受入れも行っている。「5」が妥当と考える。

6) 教育環境

浦野 / ①施設や設備については、教育上の必要性に応じて整備している。今後の施設や設備の老朽化に対しては、新校舎建設によって計画的に拡充や更新を行い、教育環境の充実を図られていくものと考えているが、2021年度は「4」が妥当と考える。

千住 / ②「サロン・ワーク及び社会常識学の授業において基本マナーの充実をはかった。1年次春期及び2年次夏期に計画していた理

容・美容サロンでの研修は見合せとなった。代替として卒業生の講話やWebガイダンスを実施した。「4」が妥当と考える。

浦野 / ③毎年防災訓練を実施し、災害時の対応や避難経路の確認等を行っている。また、学生・教職員を含め、災害時の帰宅困難者等の発生も予測し、計画的に備蓄品を整備している。「4」が妥当と考える。

7) 学生の受入れ募集

島田 / ①県内及び県外の高等学校訪問は、引き続き「新型コロナウイルス感染症」のため最低限にとどまった。学校の情報開示はホームページなどで実施し、学校案内や募集要項の記載内容、学生募集時期等は、関係諸機関との申し合わせ事項等に基づき、適正なものとなっている。募集活動においては、特に個人情報の安全かつ適正な取扱いに注意し、お互いの信頼関係に基づいた活動を行っている。②本校における教育成果については、学校案内やホームページ等にて公表している。また、高校生や保護者を対象とした説明会等においても、募集活動上必要な情報として、教育成果は正確に伝えている。2点については「5」が妥当と考える。

浦野 / ③学生納付金の金額は、通常徴収する学費等の全額を公表している。また、金額としても、本校の教育内容に鑑みて妥当なものと考えられる。「5」が妥当と考える。

8) 財務

浦野 / ①2021年度も定員を充足した。浦和校舎移転に伴い学費の見直しを進め、妥当な変更を実施した。また、中長期にわたる安定した財務基盤づくりのため、業務の効率化をさらに進めて教職員の資質向上と人員の適正化を実施したことで収支バランスの適正化を将来的にも維持する。「5」が妥当と考える。②学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、必要に応じて補正予算も組んでいる。浦和校舎建設を含めて、建設委員会・評議員会・理事会の承認を得た上で執行している。また、その執行状況についても、月次毎に会計事務所の精査を受けており、有効かつ妥当なものとなっているので「5」が妥当と考える。③会計監査は年1回、会計事務所立会いの下、監事2名により適正に行われている④埼玉県情報公開条例の規定に基づき、財務情報をホームページで公開している。以上2点については「5」が妥当と考える。

9) 法令等の遵守

校長 / ①定款の見直しと現行の関係法令や専修学校設置基準、及び理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則等との整合性を図り、適正な運営を行っている。「5」が妥当と考える。

浦野 / ②個人情報の取扱いについては十分な注意を払うとともに、外部からの不正侵入を防止する為に、ネットワークセキュリティを

強化している。また、教職員が使用する各PCについてもセキュリティ対策を講じ、別人が不正にデータにアクセスすることや、データを持ち出すことを防止し、個人情報の保護を図っている。「4」が妥当と考える。③自己評価は毎年実施し、問題点については、関係部署にて協議を行い、その改善を図っている。「5」が妥当と考える。④自己評価結果に併せて、学校関係者評価委員会の結果について詳細をホームページ上で公開している。「5」が妥当と考える。

10) 社会貢献・地域貢献

島田 / ①②③については、2021年度も「新型コロナウイルス感染症」により、地域社会への学校施設を利用した貢献や、ボランティア活動、講座の開講も見送ることとなった。よって、この項目については、評価する事が出来ない。

「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」

校長 / 以上、各項目の評価点を承認いただきたい。

挙手により全員一致で承認される。

「新型コロナウイルス感染症」による社会システムの変容は一層進むと予想される。理美容の業に関しては「実店舗」無しには成り立たない業態であり、そこに働く「エッセンシャル・ワーカー」を育成する本校では、社会における「理美容師」の役割を一層認識させていく必要がある。

そのために、社会の変容にも揺るがない職業観の育成と、時代に即した柔軟な創造性がはぐくまれるカリキュラムの策定が望まれている。

以上について、報告書を学校関係者委員会による学校評価委員会に提出し、結果をホームページ上に公開することを確認し、閉会とする。

以上

2022年6月21日(火)